



アヒヤー綱でブルピトウの慶田盛洋子さんを中心に踊る女性たち。5日、石垣市新川の真乙姥御嶽

豊作願い舞う 石垣で四力字豊年祭



【石垣】八重山最大の豊年祭、四力字豊年祭のムラブル

らが訪れ、道路を埋め尽くすほどにぎわった。

が5日、石垣市新川の真乙姥御嶽などで行われた。台風一過の青空の下、新川、大川、石垣、登野城の各字会はそれぞれの御嶽でことしの豊作に感謝する奉納行事を済ませ、真乙姥御嶽に旗頭を伴って結集。女性だけで行う綱引き「アヒヤー綱」や旗頭、奉納芸能、ツナヌミンなどで来夏世の五穀豊穰を祈願した。

会場となった真乙姥御嶽周辺には地域住民や観光客が勇壮に舞うツナヌミンは観客を魅了。最後の綱引きは多くの観客も参加した。

豊作と子孫繁栄を願って行われる「アヒヤー綱」は、ブルピトウ（綱を貫く人）に選ばれた慶田盛洋子さん(67)が雄綱と雌綱をつなぐブル棒（カヌチ棒）を差し込み開始。女性たちは綱の周りで輪になって踊り、盛り上がりを見せた。慶田盛さんは「緊張したが、やってみると落ち着いてできた。大役を果たせたと思う」と話した。

鎌となぎなたを持った男性が勇壮に舞うツナヌミンは観客を魅了。最後の綱引きは多くの観客も参加した。